

国有林野所在市町村の魅力紹介

岩手県気仙郡住田町

三陸中部森林管理署

住田町は、岩手県の東南部にあり沿岸南部に該当しているものの、太平洋に面していない唯一の町です。他方、森林資源が豊富で「森林・林業日本一の町」を目指しています。

◎五葉山は、北上山地南部に位置し住田町、大船渡市、釜石市にまたがる標高1,351mの山です。藩政時代は伊達藩の保護を受け「御用山」と呼ばれていました。それが後に、この山で多く見られるゴヨウマツ（五葉松）に因んで「五葉山」と呼ばれるようになったといわれています。初夏のツツジ、シャクナゲやガンコウランなどの植物を見ることが出来ます。住田町からは、桧山（黒岩及びあすなろ山荘）コースが最寄りの登山道です。



五葉山

◎滝観洞の、洞窟入り口から880mの場所にある「天の岩戸の滝」は落差29mの滝が流れ落ち、



滝観洞

ドーム状になっている場所から見学できます。長い竹筒から蕎麦が流れ落ちる「滝流しそば」も有名です（現在は改修のため休止）。

◎鏡岩は、上有住地区にあり気仙川上流部に垂直に切り立つ巨大な岩で、月夜に岩へ映る木の影が鏡に映っているように見えるため名付けられた景勝地です。隣接地に「せせらぎ公園」があり緑地で木漏れ日が差す心地よい場所です。



鏡岩

◎種山ヶ原は、奥州市、住田町、遠野市にまたがる物見山（種山）を頂点とした標高600～870mに位置した高原地帯です。北上高地の南西部の東西11km、南北20kmに及ぶ平原状の山で、物見山・大森山・立石などを総称して別名「種山高原」とも呼ばれています。宮沢賢治がこよなく愛した高原として知られ、宮沢賢治の作品の源泉なった岩手の自然風景地「イーハトーブの風景地」のひとつとして「物見山」も国の史跡名勝天然記念物に指定されています。



種山ヶ原